

(第三種郵便物認可)

霧島市建設同志会総会

鎌田会長 社会貢献へ団結を

霧島市建設同志会(鎌田善政会長)は17日、霧島市の国分荘で2015年度通常総会を開いた。役員改選では鎌田会長...

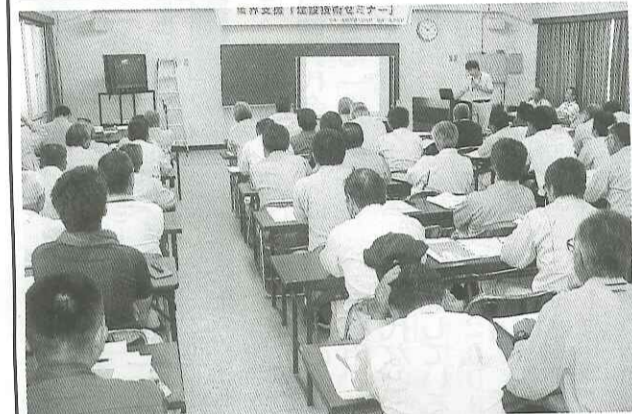


また、総会終了後は懇親会も開催。来賓の前田終止霧島市長は「災害時の対応、さまざまな地域貢献活動に感謝する。今後安心・安全で事故のない事業経営を」と祝辞を寄せた。

建設技術セミナー(徳之島) 入札制度に理解

本紙主催、県後援による「2015年度建設技術セミナー」が17日、徳之島の徳之島建設会館

第1部では、同事務所の野添芳浩河川港湾係長が、入札契約制度に関する



最近の動きや建設工事入札参加資格格付けなどについて解説。次に川畑

輝宏道路係長が、管内の公共事業計画等について説明した。続いて同事務所の内智昭

であった「写真」。建設技術者や経営者約80人が参加して、県の入札制度の動向や管内の事業計画等について学んだ。

セミナー冒頭、主催者を代表して松元謙一郎大島支局長が挨拶したあと、県大島支庁徳之島事務所の有村修建設課長が「地域づくりを進める上において建設業者の方々は重要なパートナー。必要な知識や技術力を当セミナーでしっかりと学んでいただきたい」と言葉を寄せた。

第2部では、名瀬労働基準監督署の高井浩二課長が、土木・建築技術者のための現場マネジメント講話として、建設業における労務管理および労働災害防止対策の留意点について講演を行った。

きょう、奄美会場。セミナーは、きょう19日に奄美(奄美建設会館、奄美市)で開かれる。問い合わせは、本社販売企画部(☎099・227・5100)まで。

指宿市建設業組合総会

実りある1年に

指宿市建設業組合(福永昭一組合長)は17日、同市の指宿シーサイドホテルで第10回通常総会を開き「写真」、適正単価の確保やまちづくり委員会の活動強化などを盛り込んだ新年度事業計画を3議案を審議。201



決めた。福永組合長(福福尚)は「皆で知恵を出し合い、実りある1年にしたい」と語り、協力を呼び掛けた。

4年度事業・決算報告、15年度事業計画・収支予算案など執行部原案通り可決承認した。

協建設(株) 佐々木邦廣 (株)佐々木組 石野田洋 昭(曾山建設) 塚田洋一 (株)川原建設 瀬戸口浩一 (株)福山土木 福地

茂穂(福地建設) 末重 堅司(末重建設) 山下 鉄美(株)ヤマシタ 瀬戸口慎二(株)瀬戸口建設 田上俊介(田上建設) (徳田建設)

技術者への道

【問題】 コンクリートの配合設計に関する次の記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 単位水量は、その値が大きくなると材料分離抵抗性の低下、乾燥収縮の増加、コンクリートの品質低下につながる。作業ができる範囲内でできるだけ小さくするようにする。
(2) 水セメント比は、強度、耐久性、水密性、ひび割れ抵抗性、及び鋼材を保護する性能を考慮してこれらから定まる水セメント比のうちで最も小さい値とする。
(3) 打込みの最小スランプは、打込み時に円滑かつ密実に型枠内に打ち込むために必要な最小のスランプで、構造物の打込みに要する時間条件などにより決定される。
(4) スランプ8cm程度のコンクリートを作る場合、粗骨材最大寸法が大きいほど細骨材率を小さくする。

コンクリートの配合は、所要の強度と作業に適するワーカビリティが得られる範囲内で、単位水量をできるだけ少なくする配合についてを問う問題である。

詳しくは、建設管理センター九州事業部 ☎0120・14・5353 HP http://www.ecc-jp.com

【前回の解答・解説】 正解 (3) 盛土が破壊するとすべり力等の土圧以外の力が発生するので、構造物などに過大な変形を及ぼさないような配慮が必要である。

建設業の魅力学ぶ

鹿兒島工業高等専門学校(鹿工)の学生が参加する現場研修会が16日、鹿兒島市の林建設(株)(林隆秀社長)で行われた「写真」。都

講師の梅木時文氏(株)梅木コンサル社長)が担当する授業の一環。梅木氏は「建設会社の社内を見学してみたいという生徒の要望があり、林建設の協力をいただき実現した」と経緯を語った。

同日は、小野剛副社長らが工務部の業務内容を説明したほか、

鹿工土木部監理課が建設業の許可や経営事項審査などの建設業法に係る諸手続きなどを説明する建設業経営者研修会が12日、薩摩川内市の国際交流センターで開かれた「写真」。同市やさつま町などから、経営者や事務責任

経営改正点など学ぶ

者約180人が参加。経営事項審査の改正点などを学んだ。同日は、経営事項審査

の改正点をはじめ、建設業許可手続きや法令順守指導、建設業支援策などを中心に解説が行われ、同課の田中康太主事と畠中成久専門員が講師を務めた。

参加者らは、熱心に講師の話に耳を傾け、4月から実施されている建設機械の保有や若年技術者の雇用による経営審査査の動向について理解を深めた。

8月29日、出水市で 出水いかだレース大会

出水市は8月29日、第1回出水いかだレース大

会を同市の米ノ津川(上知識橋周辺)で開催する。申し込みは同7日まで。事前説明会を同10日午後6時30分から、同市中央公民館で実施する。

コースは、全長1500m(75m往復)で、男女混合の部、メンズの部、レディースの部、ファミリーの部の4部門で実施。問い合わせは、大会事務局(☎0996・63・2154)まで。